

学 会 記 事

2006年度 第2回理事会 議事録

2006年7月21日

日本地質学会 会長 木村 学

期 日：2006年7月8日（土）

12：10～17：20

場 所：東京大学理学部1号館中央棟

747号室

出席者：木村会長、伊藤副会長、佃副会長、
渡部常務理事・上砂・大友・狩野・公文・
倉本・高橋・久田・宮下・向山 各理事、
橋辺（事務局）

欠席理事：（議長委任）：天野副常務理事・
Wallis・増田

報 告

1. 運営財政部会（部会長-上砂，中山，向
山，大友）

総務委員会（委員長-上砂）

庶務関係（担当理事-上砂）

<共催・後援等関連>

・21世紀の地学教育を考える大阪フォーラム
実行委員会子供のためのジオカーニバル
企画委員会：第7回子供のためのジオ
カーニバル2006（2006年11月11日～13日）
後援依頼→例年どおり了承

・朝日新聞社：第4回ジャパンサイエンス
&エンジニアリング（JSEC2006）高
校生科学技術チャレンジ（平成18年6月
～19年5月）後援依頼→例年どおり了承

・第21回太平洋学術会議（共催）事務局
（琉球大学）：募金委員会の設置ならび
に会長への同委員会委員の要請→了承、
会議経費96,997,000円，募金額：
14,000,000円

・社）計測自動制御学会：第32回リモート
センシングシンポジウム協賛依頼→例年
どおり了承，HP，News誌掲載

<賞の公募関連>

・朝日新聞社：2006年度朝日賞の募集（8
月31日まで）→HP，News誌掲載

・東レ：科学技術賞および科学技術研究助
成の推薦募集（7月14日まで）→HP，
News誌掲載

・社）発明協会：平成19年度全国発明表彰
募集（6月19日～9月8日）→HP掲載

・財）沖縄協会：沖縄研究奨励賞（7月15
日～9月30日）→HP，News誌掲載

・女性科学者に明るく未来をの会：2007年
度猿橋賞の募集（11月30日まで）→HP，
News誌掲載

<挨拶状>

・無機マテリアル学会役員交代：新会長

木野村暢一

・石油技術協会役員交代：新会長 佐野正
治

・東レ科学振興会専務理事交代：新理事
矢内 顕ほか

・新日鉱ホールディングス(株)グループ，ジ
ャパンエナジー(株)新社長：松下功夫，日
鉱金属(株)：役員交代

・石油資源開発(株)役員交代：社長（変更な
し）棚橋祐治ほか

<その他>

・大学評価学位授与機構：18年度機関別認
証評価専門委員として本会推薦者を選出
したとの連絡があった。

会員関係（担当理事-中山）

1）入会の承認

正会員（8）：小野雅弘，山口正秋，森良太，
棚橋道郎，山本伸次，水上知行，ティモシ
ー パーン，モア グレゴリー

正会員割引（56）：山中晶子，宮川歩夢，
五十嵐雄大，三浦知洋，草宮尚隆，宮副智
之，田所弘行，影山典史，昆 慶明，吉田
広人，室田真宏，川井隆宏，穴田真一，本
多 結，山本 巨，新納亜希子，伊牟田み
はる，二階蔵晃，鈴木友香里，真木祐典，
庵谷奈津子，武田史明，松井真理，榎本洋
輔，清水 瞳，毛利 崇，大浜敏樹，福成
徹三，森本準平，播磨雄太，イスラム エ
ムディ ラフィクル，ドゥヴェディ スニ
ル クマル，ジョシ ガネス ラージ，川
村明加，中村 慧，中野大智，梅原綾乃，
岡本直也，米島真由子，高谷真樹，高橋功
治，塚本祐也，玉原正之，大城広樹，田中
大地，松原拓穂，菊池直樹，バキロフ ア
ザマト，石川智子，大井剛志，八木裕介，
西田慎一，澤木佑介，野地耕平，節田祐介，
草葉陽子

準会員（10）：田阪美樹，桐川隆之，樋口
衡平，角田絵理，相澤育実，岩本はるか，
尾吹 萌，高柳栄子，佐津川貴子，伊東
佑子

2）退会者（正5）：江崎弘造，伊豆隆太
郎，島野裕文，猪野恭平，藤井 諭

3）6月末現在会員数
賛助34，名誉78，正4401（内，218院割），
学生29，合計名 4,442

4）追悼記事

小島名誉会員（原郁夫），羽田名誉会員
（大矢暁），氏家名誉会員（高柳洋吉）を
7号に掲載。

5）会員関係の検討課題について

・会員名簿掲載について，ニュース誌6月
号から名簿作成アンケート調査実施を開
始した。9月の評議員会までにとりまと
めを実施する予定

・2007年問題を含め，会員数増加に対する
問題点，増加策等について検討を開始す
る。

地球惑星科学連合（久田連絡委員）

・プログラム副委員長（次次期のプログラ
ム委員長）として，地質学会より渡辺真
人会員（評議員）を推薦した。

・2007年度の連合大会の日程が決まった。
2007年5月19日（土）～24日（木）の6
日間。

学術会議関係報告（木村会長＝連携会員）

・連合経路にて，平成18年度の国際会議派
遣の追加募集があった。→公文理事

・7月に海外対応委員会開催，地球惑星科
学委員会国際対応分科会IUGS小委員会
の第1回会議が開かれ，松本 良委員長
が互選された。

会計関係（担当理事 向山）

広報委員会（担当理事 大友）

ニュース誌編集小委員会（担当理事 大友）

・News誌記事一覧，今後の掲載予定など。

2. 学術研究部会（部会長-久田，公文，増
田）

行事委員会（久田委員長）

・7月8日行事委員会開催，プログラム編
成。発表登録は550件程度，登録参加者
は800名程度と予想

・会場のエアコンについては，講演会場を
ほぼ確保の見込み。ポスター会場だけは
100万円程度のレンタル経費が見込まれ
る予定。

・各賞授与の席では，従来どおり学会賞受
賞者の講演を40分とするともに，今年
度からの若手賞（通称）受賞者について
も，15分の講演を設定することとした。

・若手賞（通称）には，賞状と賞金の他，
従来の学会賞メダルの小藤氏胸像面を顕
彰名等により再デザインした新たなメダ
ルを早急に検討，作成し，副賞とするこ
ととした。

・高知大学から年会の後援を得た（会場費
が無料）。

・会長から岩鉱学会へ，2008年以降の年会
の共催について，検討依頼をした。岩鉱
学会小畑会長より7月以降検討させていただ
くとの回答を得た。

・以前より打診していた東北支部より，開
催受諾を，高島支部長より回答（正式に
は8月5日開催の支部例会で決定）。た
だし，岩鉱学会との共催の件は未通知。

・連合大会プログラム委員として，昨年に
引き続き七山太，片山肇の2会員を本人
の了解のもとに推薦することとした。な
お，来年のセッションについてアンケー

トがあり、委員から回答をした。

3. 編集出版部会 (部会長-狩野, 久田, 宮下, Wallis)

地質学雑誌編集委員会 (委員長-狩野 副委員長-久田, 宮下=企画担当)

・今月の編集状況は以下の通りです (7月6日現在)。

112-7: 総説1・論説3・短報1・口絵1. 校正中, (50p)

112-8: 準備中

・本年度投稿論文数56編 [論説36 (和文33・欧文3), 総説3 (和文3), ノート2 (和文2), 短報13 (和文13), 討論2 (和文2),] 口絵5 (和文4・欧文1)

投稿数昨年比 +7 査読中51編

・査読遅延の場合の取り扱い方法を、委員会内の申し合わせ事項として再整備した。初回査読が長期にわたった例があったため、査読期限に催促通知を行い、さらに返却が遅れた場合には別査読者選定に入ることとする。

・投稿規定の改正:
文献の書き方の例の修正・追加・体裁の統一

[修正]

現 小川琢治, 1944, 日本群島. 弘文堂, 東京, 372p.

修正 出版社「東京」を削除

現: Reading, H.C., 1986 ed., . . .

修正後 Reading, H.C., ed., 1986, . . .

[追加]

活断層研究会編, 1991, 新編日本の活断層-分布図と資料-. 東京大学出版会, 363p.

[体裁の統一]

各文献の2行目以下は、地質学雑誌と同様に全角にして2文字分右によせる。

・電子投稿・査読システム: 2件 (口絵1・論説1)の原稿を使って試行運用中。

・地質学雑誌をインパクトインパクトファクター対象ジャーナルにするための申請方法等について、具体的内容を調査・検討した。Thomson Japanでの登録誌では地質学雑誌は登録済みであったため、IF値審査申し込みを行うこととした。

Island arc 編集委員会 (担当理事-Wallis, 事務局長-竹内圭史・角替敏昭)

Wallis理事より書面に報告があった。

・Impact Factorが1.167に上昇。

・科研費「研究成果公開促進費」の交付減少傾向

・二重投稿論文の確認と著者への制裁
すでに他誌で公表されていることを確認し、二重投稿が意図的であるとして、筆頭著者に対し、5年間の投稿受付拒否を決めた。これは一昨年と同様のミスコンダクト対応時に、内規として設定したバ

ナルティーに沿ったもの。

・Editorial Advisory Boardの変更

日本古生物学会: 北里 洋氏, 岩鉦学会: 小畑正明氏, 資源地質学会: 鹿園直建氏 (変更なし), 第四紀学会: 返答なし

4. 普及教育事業部会 (部会長-高橋, 倉本) 地学教育委員会 (委員長-阿部国広)

・高知大会における普及事業 (小中高生地学研究発表会, 公開シンポジウム, 理科教員向け見学旅行) について, 高知県および高知市教育委員会の後援を得た。また, 小中高生研究発表会については, 地球惑星連合の後援も得た。

・小中高生地学研究発表会の賞について

5. その他

ジオパーク推進委員会 (佃委員長)

・ジオパーク推進委員会で選定する「地質事象100選」の候補収集を開始したところ。この追加事象提案と選定作業を行うための、日本地質学会からの担当者を、高橋理事とすることとした。

[以下、評議員会の下の委員会]

名誉会員推薦委員会 (委員長-旧: 加藤前副会長, 新: 伊藤副会長)

・名誉会員候補者追加推薦選考について

法務委員会 (担当理事: 委員長-上砂)

・学会が共催・後援する時限組織 (学会・発表会等の運営委員会等) による出版物について, 実施終了後の著作権の管理体制について, 今後検討することとした。原則的には, 当該組織からの要請があれば, 日本地質学会は著作権の移譲を受けて管理することとした。

・行事委員会でのプログラム編成を受けて, 査読結果等への異議申し立てに対応する体制を, 評議員会議長と専門部会委員により立ち上げる予定。

選挙管理委員会

・選挙管理委員会委員として, 前年度委員に対し継続要請をした結果, 次の委員から了承が得られた。また, 小布施前委員からは後任に西村会員の推薦があり了承した。さらに1名の充足委員については, 澤田会員を推薦し, 本人の了承を得た。
・継続: 加藤 潔, 関 陽児, 高橋路輝, 新任: 西村瑞恵, 澤田臣啓

○審議事項

1. 名誉会員候補者推薦選考, 評議員会での審議結果とその取り扱いについて

前期名誉会員推薦委員会での審議過程において, 1件の推薦が事務局のミスにより審議手続き漏れとなった事態が発生し, 理事会では経緯の確認と善後策を検討した。その上で当該推薦については, 前期名誉会員推薦委員

会において追加審査を行うことが妥当であるとして, 同委員会に審査を要請し, 当該被推薦者を名誉会員候補者として評議員会に追加推薦するという, 答申を受けた。

これらの経緯を含め, 理事会では推薦者にお詫びをするとともに前期名誉会員推薦委員会からの追加推薦について評議員会に諮った。7月5日に評議員会議長より追加推薦承認の回答を受け, 理事会としては総会による名誉会員指名に向けた手続きを開始することとし, 臨時総会の開催, 当該候補者への配慮等も含め, 改めて状況を総合的に検討した。その結果, 総会招集権をもつ会長の判断として, 次年度の推薦者と一括での指名を総会に諮るとの提案がなされ, 理事会としてそれを承認した。

会長から, 当該候補者へ事態の報告と謝罪をするとともに, 2度と同じミスが繰り返されないような方策の検討と, 予期せぬ事態に対して迅速な対応を迫られた際の意思決定システムの構築を行った。

2. 見学旅行案内書について

地質学雑誌編集委員会, 行事委員会, 学会四役で検討を進めていた, 学会巡検案内書の学術的ステータス確保の方策について, 高知大会巡検案内書から地質学雑誌のサブリメント化を実施することとした。具体的には, 地質学雑誌の編集規約, 規定等において巡検案内書の位置づけを明記する改定ことを提案するとともに, 編集過程や形式等は地質学雑誌に準じる指定を行う。また, 本大会では過渡的なこととして, すでに決まっている印刷物としても出版し, 雑誌巻末号でCDとしての添付による全会員への配布と, J-STAGEへの登録を行う。

これについての雑誌サブリメントとしての編集上の指示は, 雑誌編集委員会から連絡することとした。今回の理事会にて, 規約等の修正案と, 電子化による経費のシミュレーションを検討することとした。

なお, 将来的には, 講演要旨集についての電子化も検討し, 例えば大会前に学会ホームページにて公開しつつ, 大会会場でのオンデマンド出力のサービスを検討するなど, 印刷物発行の廃止の可能性を探ることとした。

3. 2007年度総会日程について

2007年度地球惑星科学連合大会の日程の決定に対し, 学会総会の日程案を検討した。関連するシンポジウム等と同日, 別時間の開催で, かつ関連セッションの日程と大きく離れないこと, ならびに多くの会員層の参加が可能となるように, 土日のいずれかの開催であること等を勘案し, 5月20日 (日) 夕刻 (17:00-19:00等) の時間帯を暫定的に候補とした。決定に向けて連合大会のプログラム委員会に対し, 上記の条件をなるべく満たす大会プログラム編成を, 次期副委員長である渡辺真人会員を通じて要望することとした。

4. 小中高生徒発表会の賞について

高知大会で予定されている“小中高生徒「地学研究」発表会”の優秀賞の授与が普及教育事業部より提案され、基本的には学会長・普及教育担当理事・地学教育委員会委員の合計3名による選考委員会の設置を了承した。選考方法については、理事会が選考協力

を担当することとした。

なお、参加証は従来どおり全員に、上記優秀賞（賞状のみ）は学会長が授与することとした。

5. 評議員会審議事項

高知大会での評議員会審議事項について

は、以下の概要を確認し、8月の四役会議にて最終確認することとした。

- ・今後の開催日程について
- ・来年度総会日程の決定
- ・その他

お知らせ：事務局の営業日が一部変更になっています！

5月より原則として毎月第2土曜日は、理事会開催に伴い事務局は通常業務を行っています。そのため翌週月曜日はお休みとさせていただきますので、ご了解下さい。

なお、8、9月は、夏期休業や高知大会のため営業日が通常と異なっていますので、ご注意ください。

営業時間：9：30～18：00

8月の営業日

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		
		お休みです				

9月の営業日

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
		お休みです				

※9/15-18は年会（高知大会）のため、事務局は不在となります。